

研修に参加した生徒の皆さん。葛川雄太さん（前列左から2番目）、湯上直人さん（前列右から2番目）、上田希美さん（後列左から1番目）、芝春華さん（後列左から5番目）、谷口純代さん（後列右から4番目）、森野亜希さん（後列右から2番目）。



見て、
触れて、
学んだ！

オーストラリア

鬼北町人材育成ふるさと基金海外研修事業

この事業は、町内に居住している青少年を海外に派遣し、国際的な視野を広めるとともに、各分野にわたり社会的に有為な人材を育成することを目的として実施されています。

今年度は、日吉中学校と広見中学校の生徒6名が、8月17日から26日までの10日間、オーストラリアのブリスベンで研修を行ったほか、北宇和高校の生徒1名が、7月20日から8月8日までの20日間、アメリカのワシントン州で農業研修を行いました。

参加した生徒の皆さんは、それぞれの地で異なる文化に直接触れあい、多くのことを学んだようです。参加した皆さんが、この研修を通じて感じたことをご報告します。

日吉中学校 上田 希美

私の海外研修の目的は、外国人の方と交流をし、関係を深めることでした。オーストラリアの方々はとても優しく親切で、目的以上の関係を築くことができ、嬉しかったです。英語を聞きとすることは難しかったけど、伝えよう、聞くという姿勢が大切だと学びました。一つ一つの行動が新鮮で、本当に充実した十日間でした。最高の夏休みになりました。海外研修での経験をこれからの生活に活かしたいと思います。ありがとうございました。



↑カンガルーに触ったよ！



↑素敵な家族との出会い

長いようで短かった十日間。この期間の中で僕は、たくさんのことを学ぶことができました。日本では見ることのできない素晴らしい自然、日本では考えられない学校生活、国は違っても、家族の愛情や絆は決して変わらないことなどの国際的視野を広めるとともに、貴重な体験をすることができました。本当に研修は、最高の思い出になりました。

広見中学校 森野 亜希

私は今回、この研修に参加できて本当に良かったです。この研修で、人の温かさにかくさん触れられて私は幸せでした。言葉はなかなか通じないけど、だからこそ友達や家族とすぐ仲良くなれたと思います。国や言葉が違うから変な目で見るのは変なことだと実感できました。さかのぼればみんな猿です。同じです。大切なのは、仲良くなるうという気持ちです。